

鶴見川出張所だより

京浜河川のHPIは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
鶴 見 ・ 新 横 浜 出 張 所 発 行
(代 表) 鶴 見 出 張 所
電 話 0 4 5 - 5 0 1 - 3 0 3 8
2 0 1 3 年 1 1 月 2 6 日 [号 外 0 4 号]

鶴見川多目的遊水地は鶴見川下流部にお住まいの方の 洪水への安全度を高めています

鶴見川多目的遊水地とは、元々自然の遊水機能を持ち、田園地帯が広がっていた鶴見川と烏山川の合流する地区を人工的に洪水調節機能をアップさせ、遊水地周辺地域をはじめ、下流域を洪水から守るために整備したものです。この遊水地には、小学校の25mプール（25m×16m×1.2m）約8,000杯分に相当する、390万m³の水を溜めることができます。



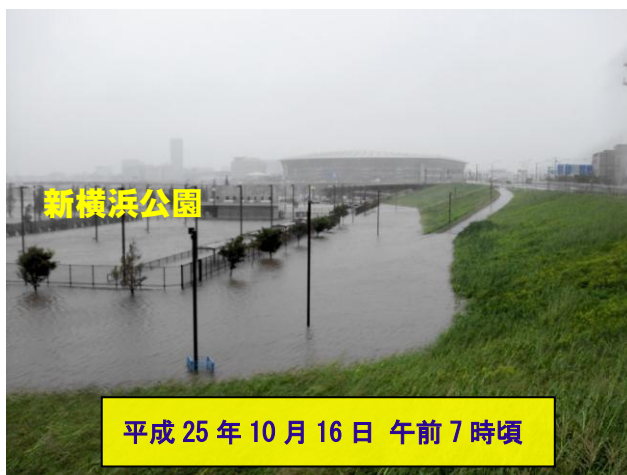
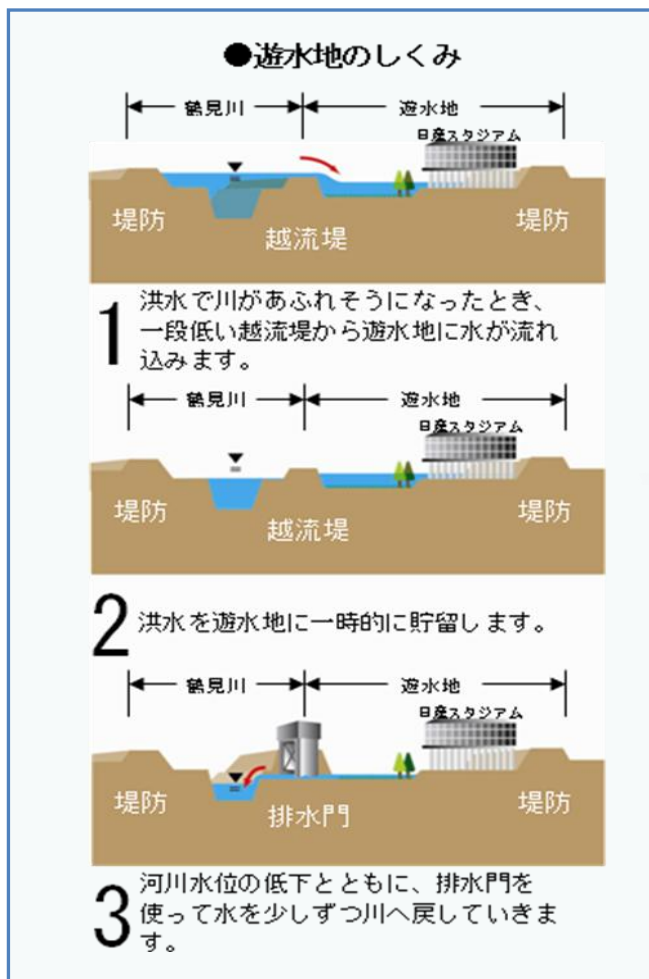
この遊水地 平常時は 市民が楽しめる公園等として活用されています



ふだんは、市民の憩いと安らぎの空間とするため、横浜市が新横浜公園を整備しているよ。
この公園は、スポーツレクリエーションの拠点であり、競技場のほか、市民が野球やサッカー、テニス等のスポーツを気軽に楽しめる公園だね。
最近、幼児のための遊具広場やドッグランも整備しているよ。

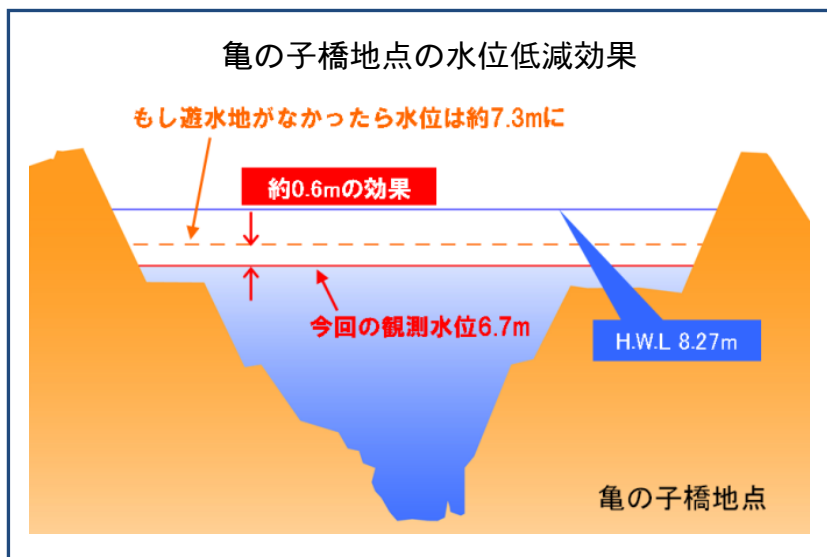


鶴見川に洪水がきた時の遊水地の仕組み



この遊水地があることによって下流部の方には **どんな効果があるのかな**
平成25年4月6日の洪水で亀甲橋付近の水位上昇を約0.6m抑えているよ

平成 25 年 4 月 6 日から 7 日にかけて、低気圧による豪雨に伴う鶴見川の増水で、洪水流が鶴見川多目的遊水地に流入し、約 92 万 m³ の洪水調節を行いました。
 この遊水地により、下流の亀甲橋（水位観測地点の亀の子橋）において、最高水位が約 0.6m 抑制されたと試算されています。（写真は、10 月 16 日の明るい時間帯のもの）



鶴見川多目的遊水地の流入実績

No	流入年月日	出水名	流入量
1	平成15年8月15日	前線による豪雨	約7,000m ³
2	平成16年10月9日	台風22号	約1,250,000m ³
3	平成16年10月20日	台風23号	約80,000m ³
4	平成17年9月4日	前線による豪雨	約50,000m ³
5	平成20年5月20日	前線による豪雨	約9,000m ³
6	平成20年8月30日	前線による豪雨	約50,000m ³
7	平成21年10月8日	台風18号	約64,000m ³
8	平成22年12月3日	前線による豪雨	約62,000m ³
9	平成23年8月28日	前線による豪雨	約54,000m ³
10	平成24年5月3日	前線による豪雨	約18,000m ³
11	平成25年4月6日	低気圧による豪雨	約922,000m ³
12	平成25年9月15日	台風18号	約50,000m ³
13	平成25年10月16日	台風26号	約328,000m ³